

(様式2)

令和元年7月2日

守谷市議会

議長 梅木 伸治 様

委員会名 決算予算特別委員会

委員長名 堤 茂信

報告者名 末村 英一郎

守谷市議会一般会議を下記のとおり開催しましたので報告いたします。

記

1 開催日時	令和元年 7 月 2 日 (火) 10 時 00 分～ 11 時 15 分
2 開催場所	守谷市議会 第一委員会室
3 議 題	食生活改善推進委員の活動について
4 出席委員名	【保健福祉分科会】 高梨 (恭)、末村、神宮、山田、高橋、浅川、砂川、堤
5 参加市民の範囲 及び参加人数	守谷市食生活改善推進員協議会 会長 澤田由加利氏 副会長 萩原和子氏 副会長 大野裕見子氏
【主な発言要旨】 冒頭、澤田会長より食生活改善推進員の活動概要に関して報告あり ・43名にて活動、すべてボランティア。 ・親子料理教室、男性向けの料理教室、児童クラブへの食育出前講座など、年に数十回の活動を行っている。 ・市が主催する研修会に年に7回、推進員の資質向上を図っている。 ・推進員の数の維持、若い世代への食育をどう普及するかが課題。 以降は質疑応答など、下記別紙参照	

Q：市民から講座開催要望等はあるか。

A：昨年度は 30 件ほど、PTA やサークル団体等から依頼があった。

Q：児童クラブでの活動の印象は。

A：推進員がピンクの T シャツを着て入ると喜ばれる。楽しむことができる。

Q：紙芝居等の準備は大変ではないか。

A：時代にあった紙芝居にしなくてはならないなどの苦勞もある。

Q：守谷市の地産地消についてどう考えるか。

A：守谷市は何でも収穫できる反面、これという特産品がないのが課題。

Q：守谷市や保健センターへの要望はあるか。

A：全国各地の協議会の活動報告を聞く機会があるが、総じて保健センターはよくやってくれていると思う。

Q：推進員の知名度は 10%程度という現状についてどう感じるか。

A：すごく残念な数字と感じる。推進員の活動に自信はあるので、徐々に上がってくると思う。

Q：近隣自治体と比べて、守谷市の予算規模は少なすぎないか。

A：他の自治体の予算の使い方の詳細を調査し、守谷市の推進員の活動改善を今後検討していきたい。

Q：推進員の人数確保が課題との事だが、どうやって仲間集めをしているのか。

A：推進員による口コミなどで誘う例もあるが、広報で養成講座の宣伝を見て参加してくる方もいる。

Q：やりたい人がいるのに、推進員養成講座を開かない年があったと聞くが。

A：事務局の都合で開けなかったことがある。担当が異なることもあり、理由は把握していない。

Q：推進員のうち、特定の人に活動が偏っているような現状はあるか。

A：ボランティアであり、できる時にできることをというのが原則。満遍なく活動ができていると思う。